

御茶盃窯芸術郷2022

ART EXHIBITION

ASO Futaba/TAKAHASHI Kengo/TANAKA Soichi



Cha-
Cha-
Cha-

2022
Nov.
3 (THU)-
10 (THU)

休館日 Nov.9(WED)

中里太郎右衛門陶房
敷地内

〒847-0821

佐賀県唐津市町田3-6-29

TEL:0955-72-8171

10:00-17:00

最終入場 16:30

入場無料

唐津市にある御茶盃窯で若手作家3名による三人展を行います。御茶盃窯は藩命により五代中里喜平次が1734年に坊主町より唐人町(現在の町田)に移設し、献上唐津を焼き続けてきた由緒ある窯で国指定史跡にもなっています。この窯をとりまく環境として隣接して森があり中里陶房の陳列館・新旧の工房・記念館さらに茶室などいくつもの施設が点在する、いわば屋根のない美術館のような唐津焼の芸術郷とも言える所です。

こうした伝統ある唐津焼の窯において、陶芸とは違った表現活動を行っている若手作家3名が歴史的な文脈

と対話を行いながら自身の表現の新しい可能性を探りつつ、歴史と伝統ある

御茶盃窯芸術郷

という空間に

対して新たな

表現、介

入を試み

る展覧

会です。

ASO
Futaba 麻生
二葉

1998年生まれ 大分県出身

漆を使った制作。最近では形を中心とする素材に合った技を使用している。工程を重ねていくことによって違うモノになっていくところが気に入っている。うるし展2020/2021に参加。

TAKAHASHI
Kengo 高橋
健悟

1997年生まれ 福岡県出身

「みんな不安だから、少し忘れて、たまに思い出す」。決して捉えたとは言えないけれど、それがあると想える瞬間を私は表現という態度で試みる。熱展(2020)/浮動-不動展(2021)に参加。

TANAKA
Soichi 田中
壮一

1996年生まれ 福岡県出身

「配置」によって感じる美的なものを損なわないように「モノ」と「場所」の関係を探る制作を行う。熱展(2020)/浮動-不動展(2021)に参加。